

標 題 : Mediterranean diet adherence and synergy with acute myocardial infarction and its determinants: A multicenter case-control study in Italy
地中海食事の順守および急性心筋梗塞とその決定要因との相乗効果 :
イタリアにおける多施設の症例-対照研究

著 者 : G. La Torre, et al. (イタリア ローマ・ラ・サピエンツァ大学
公衆衛生・感染症学部)

掲 載 誌 : PLoS One. 2018 Mar 15; 13(3): e0193360

要 旨 :

背 景 : 心臓血管系疾患は、西洋諸国で死亡率および罹患率の第1原因である。
地中海食事の悪い順守と、高血圧、コレステロール、喫煙経験者、BMI>25、
糖尿病などの急性心筋梗塞の他の危険因子との相乗作用の可能性が、深く研究
されてきた。

計 画 : 症例-対照研究。

方 法 : イタリアの三次医療機関4件から、初回の急性心筋梗塞の患者および対照を
登録のために選び出した。
食事情報をアンケートで収集して、地中海食事順守スコアを計算した。
身体活動および喫煙習慣も記録した。
相乗作用指数を Rothman に従って計算した。

結 果 : 127人の患者および173人の対照を登録した。
良い順守を示す7以上の地中海食事スコアに関する二値変数を用いて、解析
を実施した。
多変量解析が以下の変数が急性心筋梗塞と関連すると示した : 喫煙経験者
(オッズ比(OR)=2.08)、糖尿病(OR=1.42)、高血圧(OR=2.08)、高コレステロー
ル血症(OR=2.47)、BMI>25(OR=1.99)、しかし地中海食事スコア>7の被験者
(OR=0.55)およびイタリア南部の居住者の被験者(OR=0.38)の両方で予防作用
が出現した。
相乗作用は、地中海食事の悪い順守と以下の危険因子との間に存在した :
高血圧、高コレステロール血症、BMI>25、糖尿病およびイタリアの中部およ
び北部の居住者であること。

結 論 : 心疾患と地中海食事との間の相乗作用は、既知で修正可能な心臓血管系リス
クのリストを拡張する必要性、および地中海食事習慣の順守を奨励する必要性
を強調する。
